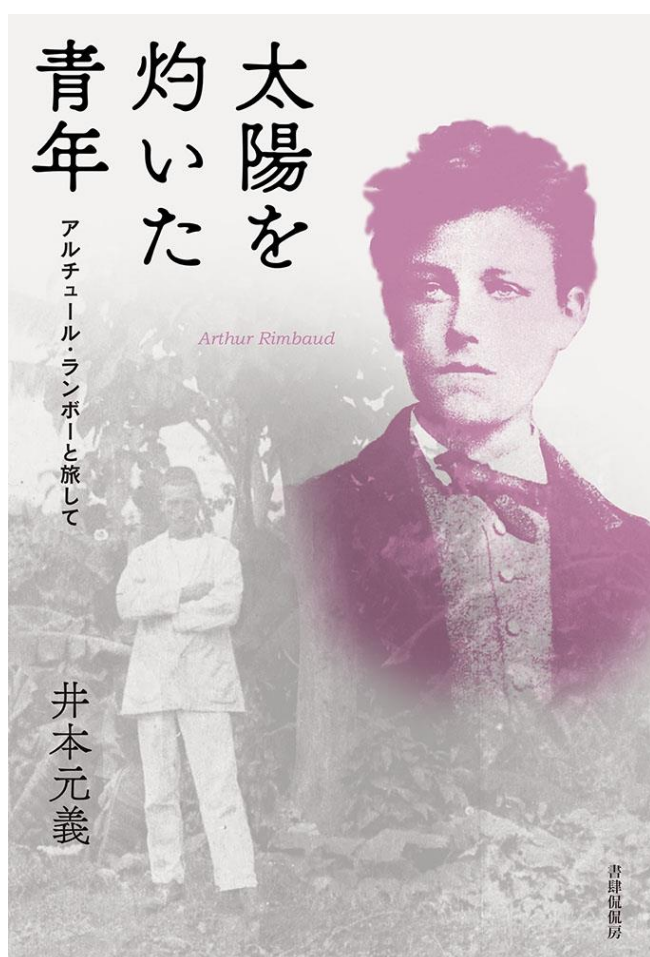


# 「太陽を灼いた青年 アルチュール・ランボーと旅して」

井本元義



地獄に魅入られた男  
ランボー

著者がランボーの足跡を追っていく  
追えば追うほど、ランボーの影は遠のく  
坂道や路地、カフェをめぐり、ランボーゆかりのホテルに泊まる  
裏通りに踏み込み、ランボーの詩の一節を口ずさむ  
愛しさと憎さのためにランボーを撃ってしまった  
ヴェルレーヌの心を推し量りながら

フランスの詩人アルチュール・ランボー(1854-1891)は、数奇な運命に導かれ、若き天才詩人と謳われ、10代にしてすでにパリ詩壇に熱狂的に迎えらる。ポール・ヴェルレーヌの熱愛によって、禁断の旅にも出る。著者はそんなランボーに魅せられ、パリ、シャルルビル、ロッシュ村と彼の跡を追って、ランボーゆかりのホテルに泊まり、カフェや路地をめぐり、彼の人生に自らの人生を重ねる。その読者もまたきっとランボーの詩やゆかりの地に自らの足跡をたどるにちがいない。  
ランボーファン必読のランボーガイドです。

定価:本体 1,600 円+税 ISBN978-4-86385-383-6 C0095 AMAZON で購入可

## 【著者プロフィール】

井本元義(いもと・もとよし)

1943 年生まれ。九州大学物理学科卒

詩集『花のスティック』『レ・モ・ノワール』『回帰』

小説『ロッシュ村幻影』『廃園』

新潮新人賞佳作「鉛の冬」

福岡市文学賞『花のスティック』

文芸思潮まほろば賞「トッカータとフーガ」

仏政府主催 仏語俳句大会グランプリ

筆者ブログ➡ <https://blog.goo.ne.jp/imotomotoyoshi2>  
あるいは「あちらこちら文学散歩」で検索